

林業安全コラム

新たな時代にPDCA
みんなで築こう ゼロ災職場
(令和元年度 全国安全週間スローガン)

○林業労働安全に資する最新装置について

今月は、平成30年12月コラムに続き、林業労働安全に寄与する最新機器をご紹介します。

①(株)Globalstar Japan「SPOT Gen3」2018年7月より日本法人による発売開始



SPOT Gen3



- ・携帯電話の圏外エリアを移動する際に、GPS位置情報をGlobalstar衛星通信を利用して、家族、会社等に知らせることができる。
- ・手のひらサイズで持ち歩くのに邪魔にならない。
- ・緊急対応機関(GEOS)へ連絡するS.O.S. ボタン搭載。
- ・2007年のサービス開始以来、約6100件以上の人命救助実績あり。

- ・イギリス林業委員会は、携帯電話や無線通信の信頼性の低い地域で作業するスタッフの安全・安心のため550台を導入。
- ・日本でも、海外で使用する目的で多くの個人ユーザーが存在。
- ・電力会社、鉄道会社等の法人が購入を検討。

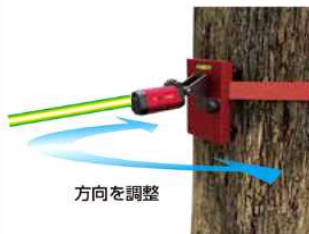
※詳しくは <http://www.globalstar.co.jp/>

②(株)藤工業 伐倒方向指示装置「ガイドレーザー」2019年5月より発売開始

ガイドレーザー使用方法

1 本体を木にベルトで固定。「レーザーヘッド」を(横向き)に。本体を左右にずらしながら伐倒方向に合わせます。

※目標付近のレーザー光が見えにくい場合、「受け口ガイド板」をレーザー反射板として使用します。



2 「レーザーヘッド」を(上下)に振り、木の傾斜と合わせます。向きを(下向き)にします。

※レーザー線が受け口の中心にくるよう角度を微調整します。



3 「目印ライン」と「レーザー線」を合わせながら受け口をつくります。

※必要に応じ「受け口ガイド板」で水平度や深さを確認します。



かかり木による労働災害の撲滅を目的に、伐倒方向に対する正確な受け口作成を補助する装置。自己の感覚と実際の伐倒方向とのずれを認識することが可能。

※詳しくは <https://www.fjk-akita.jp/guidelaser.php>

※各県の林業大学校や研究所、試験場等での購入も是非ご検討下さい。

○労働安全衛生規則一部改正の施行まであと1ヶ月です！

受け口を作るべき対象が胸高直径20cm以上への拡大や、事業者はチェーンソーによる伐木作業等を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させること、また、当該労働者は当該保護衣を着用すること等の規制強化の施行は本年8月1日からですが、施行前からの安全対策をお願いします。防護衣のご用意はお済みですか。

林業死亡労働災害多発警報発令状況：北海道（発令期間：R元.5.16～R元.8.31）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

(お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局)

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁
林業労働対策室
労働安全衛生班
TEL:03-3502-1629